

第 12 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 25 年 6 月 30 日
聖路加メディローカス

池亀 俊美
東京北社会保険病院 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは、海老伝巢医科大学附属病院循環器病棟の 2 年目看護師です。

矢丹素樹さん（48 歳男性）は、大手監査法人事務所に勤務する公認会計士です。矢丹さんは今年 1 月の人間ドックにて心電図異常を指摘され、その後の精密検査の結果、陳旧性心筋梗塞と診断されました。矢丹さんは 20 歳頃から喫煙を続けており、医師から禁煙を勧められていますが、なかなか禁煙しようとしません。

矢丹さんは昨日、経皮的冠動脈形成術を受け、今日が退院予定です。午前 7 時頃、夜勤看護師のあなたが検温のために矢丹さんの病室に入ろうとしたところ、タバコの臭いに気付きました。入ってみると、矢丹さんはベッドで新聞を読んでいます。あなたは矢丹さんの血圧測定、昨日の検査部位の観察を始め、特に問題がないことを確認しました。

あなた「ちょっと気になったんですが、このお部屋タバコ臭くないですか？」

矢丹「あ、ばれた？いやあ、心臓の血管の治療も終わって、ほっとしたよ。ストレスが一番いけないんだね。昨日入院してからずっとタバコを我慢していったんだよ。周りの人にいけないと思って、タバコ吸えるように個室にしたんだし、気分転換にさっき吸ったんだ。1 日近く吸えなかったら、うまかったなあ」

あなた「え！？このお部屋でたばこを吸ったんですか？病院は禁煙ですし、タバコは体に、特に心臓に良くないですよ」

矢丹「医者にも言われたよ。タバコが心臓に悪いて聞いてから、ちょっと本数は減らしたけどね。でも、心臓も治ったし、また前のように吸ってみたんだ」

あなた「今回入院して、せっかく吸わずにすんでいたのに。この機会に禁煙した方がいいですよ」

矢丹「えっ？禁煙？しない、しない、できないよ。心臓も何ともなかったんだし、また吸えて嬉しいよ」

矢丹さんの冠危険因子は、脂質異常症、喫煙（20 本×42 年）です。1 週間のうち月曜から金曜日は、仕事の関係上、会食がほとんどです。また会社の往復や外出はタクシーでの移動が多く、週末のゴルフ程度しか運動する機会はありません。また、矢丹さんは 1 人暮らしです。

矢丹さんは、今日の午前中に退院です。あなたは主治医に報告した上で、矢丹さんに再度、禁煙指導をすることにしました（10 分間）。